

令和3年 5月23日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始: 令和3年 3月1日(月) 午前10時~

料金: 全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催: 公益財団法人十四世六平太記念財団

協力: 一般社団法人喜多流職分会

後援: 品川区、品川区教育委員会

・ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様、入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から日本への入国後14日間経過していないお客様のご来場はお断りいたします。
・会場入り口前で手指の消毒、検温を実施させていただきます。体温が37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご入場はお断りさせていただいております。

喜多流 自主公演

令和三年 五月

葵 小 小 鍛 冶
上 塩 白 冶
大 粟 佐
島 谷 藤
輝 明 寛
久 生 泰

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
ご予約の際ご案内いたします。
※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・当面のあいだ水分補給を除き、飲食はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

当能楽堂は、政府、公益社団法人全国公立文化施設協会などのガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策ガイドラインを定めています。なお、本ガイドラインの内容は、新型コロナウイルス感染症の地域における動向や専門家の意見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとさせていただきますので、ご来場の前には当能楽堂HPにてご確認ください。お客様におかれましても、ご自身の感染予防とともに周りのお客様にご配慮いただけますよう、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

<http://kita-noh.com/covid-19-guidelines/>

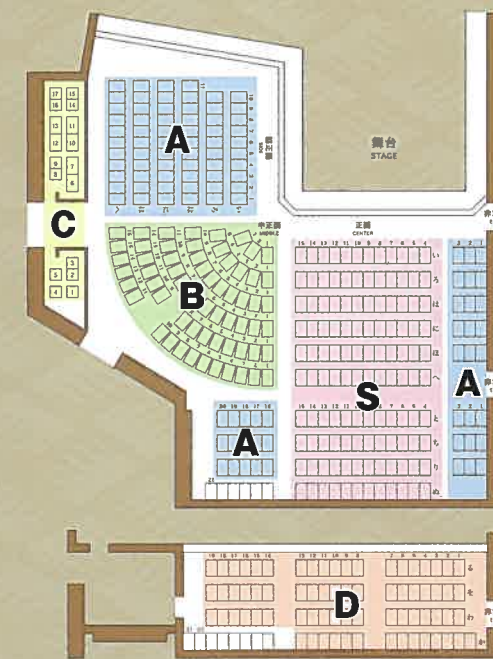


喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ・ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただけます。
- ・本年度は延期になった前年度の振替公演です。ご利用は前年度(令和2年度)喜多流自主公演年間優待券をご利用ください。尚、前年度の予約済の指定席も有効です。
- ・青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席 9,000円	C席(1階後席) 6,500円
A席 8,000円	D席(2階席) 6,500円
B席 7,000円	学生席(2階席) 2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9
TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999
喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

五月自主公演番組

能

後シテ・稲荷明神
前シテ・童子 佐藤寛泰

小鍛冶

ワキ・小鍛冶宗近 村瀬 慧
白頭 ワキ連・橋道成 矢野昌平
アイ・稲荷明神の末社 内藤 連

大鼓 亀井洋佑 太鼓 大川典良
小鼓 幸 信吾 笛 杉 信太郎

後見 友枝昭世
松井 彬

地謡 友枝雄太郎 高林呻二
谷 友矩 中村邦生
友枝真也 大村 定
狩野祐一 友枝雄人

狂言

箕被

シテ・夫 野村万作

アド妻 高野和憲

休憩(二十分)

能

後シテ・在原業平の靈
前シテ・樵翁 粟谷明生

小塩

ワキ都の人 殿田謙吉
ワキ連・同前 則久英志
ワキ連・同前 小林克都
アイ・大原の里人 深田博治

大鼓 亀井広忠 太鼓 林 雄一郎
小鼓 成田達志 笛 小野寺竜一

後見 香川靖嗣
内田安信

地謡 金子龍晟 粟谷充雄
佐藤 陽 金子敬一郎
塩津圭介 長島 茂
狩野祐一 内田成信

休憩(十分)

仕舞

鞍馬天狗

塩津圭介

地謡 佐々木多門
狩野了一
大島政允
粟谷充雄

能

シテ連・照日巫女 高林昌司
シテ・六条御息所の靈 大島輝久

葵上

ワキ・横川の小型 大日方 寛
ワキ連・大臣 野口琢弘
アイ・大臣内の者 石田淡朗

大鼓 大倉栄太郎 太鼓 澤田晃良
小鼓 飯富孔明 笛 栗林祐輔

後見 塩津哲生
谷 大作

地謡 金子龍晟 粟谷浩之
谷 友矩 狩野了一
佐藤 陽 出雲康雅
友枝雄太郎 佐々木多門

附祝言

終了予定時刻 四時五十分頃

小鍛冶 白頭(こかじはくとう)

一条帝は、小鍛冶宗近に剣を打たせよとの夢の告げにより宣旨を下すため、勅使として橋道成を送る。ところが宗近は突然の事であるし、自分に劣らぬ腕前の相槌を打つものがないために辞退をしようとするが、断ることが出来ない。困った宗近は、氏神の稲荷明神に神頼みに出掛けようとする。童形の者が現れる。彼はすでに宣旨のを知っている。日本武尊の草薙剣の物語などを語る。そして剣を打つときは必ず力を貸すと云い残し稲荷山の方へ消え失せる。(中人)宗近は、七五三縄を張った壇で支度を調べて祝詞を唱える。すると稲荷明神が現れ相槌を務めて、宗近と共に剣を打ちあげる。打ち上がった剣の表に宗近は『小鍛冶宗近』裏には稲荷明神が「小狐」と銘を入れ、勅使に捧げる。そして稲荷明神の化身は雲に飛び乗り稲荷山に帰っていったのであった。(約七〇分)

箕被(みかずき)

連歌に熱中して家を顧みない夫は、自慢の発句を披露する会を開きたいと、妻にその用意を命じる。妻は貧しさを理由に反対し、どうしても会を催すなら離縁してほしいと言う。夫は暇のしるしに、妻の使い慣れた箕(み)を渡すが、それを被った「箕被(みかずき)」妻の後ろ姿を見て、思わず発句を詠みかける。そこで妻は…。(約三十分)

小塩(おしお)

大原野は花ざかりの季節。花見人の前に桜の枝をかざした老人が現れる。老人の華やいだ姿に花見人は声をかけ、二人は桜花をとともに愛でる。桜の美しさに老人は「大原や小塩の山も今日こそは神代のことと思いつづらめ」と古歌をひく。花見人がその歌の作者を問うと、二条の后がこの大原野に行幸されたとき、在原業平が后との昔の契を想い詠んだ歌だと答える。老人は昔男と呼ばれた業平の話につけ、昔のことを偲びつつ花のかげに消え失せる。(中人)花見人はさき程の老人が業平の霊だと思ひなし、経を誦誦して再びの対面を待つと花見車に乗った貴人姿の業平が現れる。業平は自らの和歌を詠じつつ、人の恋心の果てしなさを積もる思いを語りつつ舞を舞う。やがて二条の后に供奉してこの大原野に來た昔が忘れられないと語りつつ、春の夜の夢の如く消え失せる。(約九十五分)

葵上(あおいのうえ)

物の怪に取りつかれた葵上は、祈禱の甲斐もなく床に臥していた。朱雀院に仕える臣下は物の怪の正体を知るために、照日の巫女に梓の弓を弾じさせる。やがて弓の音にひかれ「破れ車」にのった女性の霊が現れる。霊魂は自らを六条御息所の生霊と名乗り光源氏の心移りの恨みを面々と語る。遂には激情に駆られ葵上を打ちすえ破れ車に乗せて連れ去ろうとする。容態が急変したので呼ばれた横川の小型が祈禱を始めると鬼女となった六条御息所が現れ、小聖を追い返そうと激しく争う。ついに鬼女は経文誦誦に心を和らげて成仏するのであった。(約六十分)

令和三年 六月 自主公演番組予告

令和三年 六月 二十七日(日) 正午始
十四世喜多六平太記念能楽堂
前売開始 四月一日(木) 午前十時

小 督 中村邦生
玉 葛 粟谷能夫
阿 漕 内田成信